速報　ＪＲ総連緊急対策本部情報
ＪＲ総連 東北地方太平洋沖地震 緊急対策本部情報
2011年３月29日
８：00発行　№23
発行：全日本鉄道労働組合総連合会

頑張ろう！被災者のみなさん。

# あまりの惨状に絶句…！

## 支援物資を気仙沼に

支援行動レポートvol.11

【22日】

支援物資を満載した３台の車は22日朝、盛岡運輸区の仲間に見送られ、ＪＲ東労組盛岡地本事務所を出発しました。３班に分かれ、宮古、釜石、気仙沼方面をそれぞれ目指します。ＪＲ総連・黒田政治共闘部長は、ＪＲ東労組本部・山白組織部長、盛岡地本・坂本委員長と佐々木組織部長、一関支部・野中委員長とともに、気仙沼地域に向かいました。途中、一関支部を経由して気仙沼まで、約２時間半もかかりました。盛岡地本エリアの広さを感じます。

気仙沼の駅前を過ぎて港に近づくと、一瞬、言葉を失います。被災地の惨状が目の前に飛び込んできたのです。報道されていたとはいえ、まさに壊滅的な被害状況でした。「うわぁ…」「今後どうしていくんだ…」など、同じ言葉しか出てきません。押し流された家屋、潰れた車、曲がったレール、それらを目の当たりにすると、津波に遭った人々が叫んだであろう「おかあさん！」「助けてー！」の声が聞こえてきそうです。山となった瓦礫の下には、まだたくさんの人たちが埋まっているかと思うと、やりきれなさがこみ上げてきました。

私たちは、支援物資を地域に住んでいる一関支部の役員に託しました。その物資は、それぞれの組合員宅に配ってもらいます。しかし、依然としてガソリンの供給も厳しく、燃料を気にしながら配布しなくてはなりません。

被災者の復興を願い、次の被災地に向かう準備のため、車は盛岡に戻ります。（つづく）

**【写真上から】盛岡運輸区の仲間が見送り／あめのように曲がった線路／気仙漁港・海産物工場は壊滅状態／気仙沼市内の道路**